

研修報告

『専門研修④』

中堅・ベテランSWのための面接技術～フォローアップ研修』

- ◇講師：田中 千枝子先生（日本福祉大学）
- ◇研修日：H30年1月27日（土） 9：30～16：00
- ◇会場：ウインクあいち 1003 会議室
- ◇参加人数：12名
- ◇内容：専門性にもとづくSW実践をSFAの面接技術として学び伝えるために
面接技術①②の復習
理論の確認
演習：面接技術①で登場した事例の「嶋田さん」にソリューショントーク
を用いて面接を行う（ロールプレイ）…ビデオ使用
振り返り

◇アンケート コメント紹介◇



- ・解決の糸口が見えずグルグル回る面談がよくあるため、いままでと違う枠組みをつかうことでアセスメントが深まること、質問の仕方によって相手の答えが変わるという体験ができたことは、次からの面談にいかせそうです。
- ・枠組みをつけずに質問をし続けることが患者理解・アセスメントの幅も広げることになりました。実践の中ではSFAの質問だけに捉われず、SFAの技法をまぜてやっていこうと思います。
- ・原因を追究してアセスメントしていたように思います。発想転換のきっかけにしたいです。
- ・今回のようなフォローアップ研修が年に1回ではなく、もう少し多くあれば業務にいかしやすいと思います。

中堅・ベテランSWのための面接技術～フォローアップ研修～について

委員長 前田 美都里

土曜日の1日研修ということもあり、勤務の都合で参加できない方もあったと思います。これまでに面接技術①②を受講された方が延べ180名を超えることを考えると、参加率がやや低い研修となりました。

ただ、その分というより、それだからこそ、内容は深く濃い研修になりました。これまで学んできたSFAの理論を振り返り、その技法（ソリューション・トーク）を用いて面接（ロールプレイ）を行うという、まさに理論と実践を結びつける、実践を理論で語る研修であり、専門研修らしい研修になったと思います。

面接技術①にビデオで登場した「嶋田さん」が今回は生で登場し、面接場面が展開されました。

参加された方から、「このようなフォローアップ研修が年に1回ではなく、もう少し多くあれば業務に活かしやすい」との感想もいただきました。次年度も面接技術研修の開催を予定しています。より多くの方に参加いただけるような研修のあり方を検討していきたいと思います。